

情報漏えい対策アプライアンス「TrueWitness」シリーズを販売開始

株式会社データコントロール(代表取締役社長:原 健人)は、レーザーファイブ株式会社(代表取締役:窪田 敏之)が開発した、不正アクセス、機密漏えい等ネットワークを監視する情報漏えい対策アプライアンス「TrueWitness」の販売を開始いたします。

顧客名簿等の極秘情報の漏洩、不適切な Web サイトの利用など、インターネットの不正利用による被害が急速に拡大しております。「個人情報保護法」や「プロバイダ責任制限法」などが成立した昨今、刑事告訴や損害賠償などの法的処置も視野に入れた、リスクマネジメント対策の必要性が高まり、不正利用の痕跡を残すことができるネットワーク監視装置、フォレンジック(Forensic=裁判所、法廷)サーバの必要性が高まっています。

このような問題にシンプルかつ強力な解決方法、それが「TrueWitness」です。

「TrueWitness」は、ネットワークを通過する99.9%以上のパケットを記録し、事後に解析を可能とします。さらに電子メールの送受信やホームページの閲覧、掲示板への書き込みを、パケットレベルで記録・監視・解析が可能です。データは全て自動的に分析、解析され電子メールや添付ファイル、Web、FTP 転送の利用を記録し再現しますので、使い方は簡単です。「TrueWitness」の導入は非常にシンプルで既に構成されているサーバやネットワーク環境を変更する必要はありません。

【機能と特徴】

- フォレンジック(Forensic=裁判所、法廷)サーバとして利用可能
- アプライアンスサーバのため既存のサーバ構成等の変更不要
- スニффイング型パケット取得・記録・監視・解析が可能
- 電子メールの本文、添付ファイル(Excel、Word、Powerpoint等)ヘッダー情報(CC、BCC、メールサーバ等)の復元閲覧可能
- Webの利用状況、アクセスした履歴を全て保存可能(URL別表示及び検索/サイト別表示及び検索)
- FTP利用を記録し閲覧可能
- 侵入攻撃検知解析機能
- 利用者別ランキング表示機能

【基本スペック】

- エンジン: Agneya(アグニア)
- OS: TrueWitness Linux

【価格と出荷時期】

機種名	標準価格	主要スペック	出荷時期
TrueWitness Basic	¥2,415,000 (本体価格:¥2,300,000)	タワー型筐体、HDD 146GB	2004年11月1日
TrueWitness Enterprise	¥5,880,000 (本体価格:¥5,600,000)	ラックマウント型筐体、HDD 146GB×4(RAID5)、LTO1	2004年11月1日
TrueWitness Enterprise(カスタマイズ)	別途お見積もり	別途	2004年11月1日

※ スペックは予告なく変更することがあります

■このプレスリリースに関するお問い合わせは下記まで

株式会社データコントロール 担当:渡辺、岩波

TEL: 03-3582-2110 FAX: 03-3582-3894

Eメールアドレス: sales@datacontrol.co.jp

URL: <http://www.datacontrol.co.jp>